



給与所得者の特定支出に関する明細書

(年分)

納税地

氏 名

1 特定支出の金額

通勤費 【区分1】	通 勤 の 経 路 ・ 方 法			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
	通勤の経路・方法については二面の所定の欄に書いてください。			円	円	① 円
職務上の旅費 【区分256】	旅 行 先 及 び 目 的			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	② 円
転居費 【区分2】 (転任に伴うもの)	転任前	勤務地		転任後	勤務地	
		住 所 (又は居所)			住 所 (又は居所)	
	(再転任をした場合など書ききれないときはこの欄に書いてください。)			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	③ 円
研修費 【区分4】	研 修 の 内 容			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	④ 円
資格取得費 【区分8】 (人の資格を取得するための費用)	資 格 の 内 容			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	⑤ 円
帰宅旅費 【区分16】 (単身赴任に伴うもの)	勤務地 (又は居所)			配偶者等の 居住する場所		
	(勤務地や配偶者等の居住する場所が変わった場合など書ききれないときは、この欄に書いてください。)			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	⑥ 円
図書費 【区分32】	図 書 名 及 び 内 容			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	⑦ 円
衣服費 【区分64】	衣 服 の 種 類			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
				円	円	⑧ 円
交際費等 【区分128】	接 待 等 に つ い て			①支出金額	②補填される金額のうち非課税部分等	③差引金額 (A-B)
	内 容	相手方の氏名・名称	相手方との関係	円	円	⑨ 円
小 計 (⑦+⑧+⑨)						⑩ (最高65万円)
特 定 支 出 の 合 計 額 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑩)						⑪
適用を受ける特定支出の区分の合計 (適用を受ける特定支出の各区分の【番号】を合計します。)						⑫

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

(注)「②補填される金額のうち非課税部分等」とは、特定支出について、給与等の支払者により補填される部分のうち非課税部分及び雇用保険法に基づく教育訓練給付金、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく母子家庭自立支援教育訓練給付金、同法に基づく父子家庭自立支援教育訓練給付金が支給される部分をいいます。

2 特定支出控除適用後の給与所得金額

給与等の収入金額の合計額	⑬	円	← 申告書第一表の「収入金額等」欄の給与の金額を書いてください。
特定支出控除適用前の給与所得金額	⑭		← 確定申告の手引きで計算した所得金額を書いてください。
給与所得控除 (⑬-⑭)	⑮		
⑮×1/2	⑯		
特定支出控除の金額 (⑭-⑯)	⑰	(赤字の場合は0)	← (注) ⑰欄が赤字の場合は特定支出控除の適用はありません。
特定支出控除適用後の給与所得金額 (⑬-⑯-⑰)	⑱		← 申告書第一表の「所得金額等」欄の給与に転記してください。所得金額調整控除の適用がある場合には、⑱欄の金額に代わり、確定申告の手引きで計算した給与所得の金額を申告書第一表の「所得金額等」欄の給与に書いてください。

- ◎ 上記⑪の金額を申告書第二表の「特例適用条文等」欄に書きます。記載例：特例適用条文等 所法57の2 XXX,XXX 円
- ◎ 上記⑫の数字を申告書第一表の「所得金額等」欄の給与の「区分」欄に書きます。
- ◎ 給与所得者の特定支出控除に関する詳しいことは、税務署にお尋ねください。